

平成 27 年度志摩市消費動向アンケート調査結果
概 要

2016年 1月

志 摩 市 商 工 会

アンケート調査結果の概要

A. 調査方法

[実施方法]

アンケート回答（回答者自記式）

[実施日時および場所]

調査日時：平成27年12月5日（土） 10:00～15:00

実施場所：阿児町鶴方 阿児アリーナ 志摩市産業まつり会場

B. 調査アンケート回答状況

調査事項	回答者数
志摩市市民の消費動向に関するアンケート調査	126人

ただし、構成比等の合計については、四捨五入するため、必ずしも100%とはならない。



アンケート調査実施風景

C. アンケート調査結果

1. アンケート回答者の属性

問1 居住地区

①回答者の居住地区

居住地区名	回答者数	構成比
阿児町	70	56%
磯部町	19	15%
志摩町	15	12%
浜島町	12	10%
大王町	10	8%
合計	126	100%

②住民台帳による人口・世帯数 (H27. 12)

地区名	人口計	世帯数計	人口構成比	世帯数構成比
阿児町	22350	9,382	42%	41%
磯部町	7935	3431	15%	15%
志摩町	11294	4887	21%	21%
浜島町	4660	2015	9%	9%
大王町	6704	3131	13%	14%
計	52,943	22,846	100%	100%

問2 家族の世帯人数

回答者の世帯人数	回答数	構成比
1人	6	5%
2人	35	28%
3人	29	23%
4人	31	25%
5人以上	25	20%
合計	126	100%
平均世帯人数	2.6	

志摩市の平成28年1月1日現在の人口は、「②住民台帳による人口・世帯数 (H27. 12)」の表の通りとおり、全体で52,943である。

回答者の居住地区については、“阿児町”56%が最も多く、次に“磯部町”15%、“志摩町”12%、“浜島町”10%、“大王町”8%の順となっている。回答者の構成比率住民基本台帳の人口の構成比と比較すると、阿児町+14ポイント、磯部町0ポイント、志摩町-9ポイント、浜島町+1ポイント、大王町-5ポイントとなっている。

この結果、回答者の構成比は磯部町および浜島町はほぼ実態に合った構成比であるが、阿児町は実態よりも多い回答者数、志摩町および大王町は実態よりも少ない回答者数となっており、このことから、阿児町、志摩町及び大王町の買い物調査にも影響するものと思われる。

回答者の家族の人数は、“2人”28%が最も多く、次に“4人”25%、“3人”23%、“5人”20%、“1人”5%の順となっている。また、一世帯あたり2.6人である。この構成員数を三重県及び全国(2015年国調)と比較すると、全国では“1人”32%が最も多く、次に“2人”27%、“3人”18%、“4人”15%、“5人”8%、一世帯あたり2.4人である。であり、また三重県では“2人”28%が最も多く、次に“1人”27%、“3人”19%、“4人”16%、“5人”10%、一世帯あたり2.6人である。

1世帯あたりの人数はほぼ同じだが、志摩市の世帯人数については全国及び三重県よりも多く、核家族化が少なく、世帯人数が増える世帯構成比が高くなっている。

問3 家族構成（世帯構造）

回答者の世帯構造	回答数	構成比
3世代	12	10%
2世代(親子で65歳未満)	66	52%
夫婦のみ(2人ともまたはどちらかが65歳未満)	25	20%
単身者(65歳未満)	3	2%
65歳以上単身・65歳以上夫婦・65歳以上親子	13	10%
その他	5	4%
無回答	2	2%
合計	126	100%

回答者の世帯構造は、2世代(親と子(65歳未満))”52%が最も多く、次に“夫婦のみ(2人ともまたはどちらかが65歳未満)”20%、“65歳以上単身・65歳以上夫婦・65歳以上親子”“3世代”10%、“その他”4%、“単身者(65歳未満)”“無回答”2%“の順となっている。2014年の全国の世帯構造と比較すると、2世代(親と子(65歳未満))”36%が最も多く、次に“夫婦のみ(2人ともまたはどちらかが65歳未満)”30%、“単身者(65歳未満)”27%、“65歳以上単身・65歳以上夫婦・65歳以上親子”24%(世帯類型別による高齢者世帯)、“3世代”・その他”4%の順となっている(注:世帯類型別の調査結果を含めたため、合計は100とにならない)。この結果から、志摩市の世帯構造は、全国と比較して、高齢者世帯、単身者世帯が少ないと推測できる。

問4 主に買い物をする人の性別・年齢比率

家族で主に買い物をする人の年齢	回答数	構成比
男性20歳未満	2	1%
女性20歳未満	2	1%
20歳未満計	4	2%
男性20歳代	1	1%
女性20歳代	1	1%
20歳代計	2	1%
男性30歳代	4	2%
女性30歳代	14	9%
30歳代計	18	11%
男性40歳代	11	7%
女性40歳代	30	19%
40歳代計	41	25%
男性50歳代	7	4%
女性50歳代	31	19%
50歳代計	38	24%
男性60歳代	11	7%
女性60歳代	29	18%
60歳代計	40	25%
男性70歳以上	6	4%
女性70歳以上	12	7%
70歳以上計	18	11%
男性計	42	26%
女性計	119	74%
合計	161	100%
うち複数回答数計	35	*28%

注：*印のパーセンテージは、複数回答者数÷全回答者数(126)

回答者の家族で主に買い物をする人の年齢は、“40歳代”“60歳代”25%が最も多く、次に“50歳代”24%、“30歳代”“70歳代”11%、“20歳未満”2%、“20歳代”1%の順となっている。

性別では、全体は男性26%、女性74%であり、年代別では、女性の40歳代・50歳代の19%が最も多く、次に女性60歳代18%、女性30歳代9%、女性70歳以上・男性40歳代・60歳代7%、男性50歳代・70歳以上4%、男性30歳代2%、男女とも20歳未満・20歳代1%の順となっている。

男女を合わせた年齢別では、中高年齢層の比率が高く、性別では、女性が男性の約3倍近くと圧倒的に多く、年代的にも女性の中高年代層の比率が高くなっている。このことから、買い物客は、女性の中高年代層が主と推測できる。

2. アンケート回答者の買い物について

問5ふだんの平日（休日以外）の買い物をする地区

（平日、主に買い物等をする地区）

平日、回答者が主に「買い物」「サービス」を購入する地区は、全体平均では、志摩市内 77%、市外 23%であり、志摩市内が約 8 割近くを占め、志摩市内が 54 ポイント高くなっている。各地区別に見ると“阿児町”66%が最も多く、次に“伊勢市”17%、“その他市町”6%、“磯部町”4%、“志摩町”4%、“大王町”2%、“浜島町”1%、“鳥羽市”0%の順となっている。



また、「買い物」および「サービス」別にみると、「買い物」の全体平均は、志摩市内 73%、市外 28%であり、志摩市内が約 7 割強を占めている。各地区別に見ると“阿児町”62%が最も多く、次に“伊勢市”20%、“その他市町”8%、“磯部町”4%、“志摩町”3%、“大王町”2%、“浜島町”1%、“鳥羽市”0%の順となっている。この結果、買い物は阿児町に一極集中していることが推測できる。また、市外については、多くの場合、勤務地の関係等もあり、7%近い市民（多くが就業による）が都外に流出していることから、伊勢市及びその他市町が 2 位、3 位を占めている。

また、とくに阿児町は、全ての「買い物」の購入品目が 1 位となっており、「日用雑貨、家庭用品など」は 80%を超えている。また、70%代の「買い物」の購入品目が 3 品目、60%代の「買い物」の購入品目が 4 品目、50%代の「買い物」の購入品目が 4 品目あり、50%に満たない 40%代の「買い物」の購入品目は、3 品目のみである。志摩市内のその他の地区では、磯部町の「ガソリン・灯油・燃料」以外は、「買い物」の購入品目はいずれも 10%以下であり、とくに 0%の「買い物」の購入品目がある地区は、浜島町 8 品目、磯部町 4 品目、大王町 3 品目となっている。一方、市外の伊勢市では、買い回り品の購入比率が高く、30%代の「買い物」の購入品目が 4 品目、29%が 1 品目となっている。このことから、「紳士服」「婦人服・子供服」の 2 品目は、志摩市内での購入比率が 50%以下となっている。

次に、「サービス」の全体平均は、志摩市内 89%、市外 11%と志摩市内が約 9 割近くを占め、志摩市内が 78 ポイント高くなっている。これは、サービスの性質が購入と消費が同時に行われる購入品目が多いことが要因と考えられる。各地区別に見ると“阿児町”75%が最も多く、次に“伊勢市”9%、“磯部町”5%、“志摩町”5%、“大王町”2%、“浜島町”2%、“その他市町”1%、“鳥羽市”0%の順となっている。「サービス」も志摩市の地区別人口構成比と比較すると、阿児町に一極集中しているが、居住地での購買比率は若干高くなっている。また、とくに阿児町は、全ての「サービス」購入品目が 1 位となっており、「学習塾」は 94%、「整体・マッサージ業」84%、「飲食」76%、「美容・理髪」75%、「クリーニング」74%、「自動車修理」63%と

なっている。一方、志摩市内の阿児町以外の地区では、磯部町の「クリーニング」および「自動車修理」の12%以外は全て10%以下であり、購入品目が0%であった品目のある地区は、「飲食」が磯部町、大王町、浜島町、「学習塾」が大王町、志摩町、浜島町である。他方、市外の地区も購入品目が10%代は、伊勢市の「美容・理髪」「飲食」「自動車修理」のみであり、伊勢市においても「クリーニング」は0%である。やはり、「サービス」の購入は、居住地あるいは近隣地が多いことが推測できる。

買い物・サービスの購入品目等区分		有効回答数	磯部	阿児	大王	志摩	浜島	志摩市計	伊勢市	鳥羽市	その他市町	志摩市以外の市町計
買 い 物 の 購 入 品 目 等	1 生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品(お菓子・弁当・酒を含む。)	111	8%	66%	5%	8%	1%	88%	13%	0%	2%	14%
	2 日用雑貨・家庭用品など	106	7%	83%	3%	6%	0%	98%	2%	0%	0%	2%
	3 化粧品・医薬品	97	5%	67%	4%	5%	1%	82%	7%	0%	10%	18%
	4 日用衣料品(下着・作業服・靴下類など)	100	3%	78%	3%	1%	0%	85%	14%	0%	1%	15%
	5 紳士服	82	0%	40%	2%	1%	0%	44%	37%	0%	20%	56%
	6 婦人服・子供服	87	0%	46%	2%	1%	0%	49%	38%	0%	13%	51%
	7 電化製品	97	2%	71%	1%	2%	1%	77%	18%	0%	5%	23%
	8 書籍・文具品	95	2%	79%	0%	4%	2%	87%	9%	0%	3%	13%
	9 おもちゃ・スポーツ・レジャー用品	79	3%	52%	0%	1%	0%	53%	27%	0%	18%	44%
	10 靴・カバン	90	1%	51%	2%	2%	0%	57%	31%	0%	12%	43%
	11 時計・メガネ・アクセサリ	84	0%	54%	2%	2%	2%	61%	29%	0%	11%	39%
	12 お祝い品・記念品・土産物などの贈答品	90	3%	64%	1%	3%	0%	72%	16%	0%	12%	28%
	13 家具・寝具・室内装飾品	89	0%	49%	0%	1%	0%	51%	38%	0%	11%	49%
	14 自動車・オートバイ・自転車	84	5%	64%	4%	2%	1%	76%	13%	0%	11%	24%
	15 ガソリン・灯油・燃料	105	11%	58%	3%	6%	7%	85%	14%	1%	0%	15%
小計	1396	4%	62%	2%	3%	1%	73%	20%	0%	8%	28%	
購 入 サ ー ビ ス	16 美容・理髪	102	2%	75%	3%	8%	3%	90%	10%	0%	0%	10%
	17 飲食(夕食などの外食)	96	0%	76%	0%	2%	0%	78%	18%	1%	3%	22%
	18 クリーニング	92	12%	74%	1%	9%	3%	99%	0%	0%	1%	1%
	19 整体・マッサージ等	61	2%	84%	2%	2%	2%	90%	8%	0%	2%	10%
	20 学習塾	36	3%	94%	0%	0%	0%	97%	3%	0%	0%	3%
	21 自動車修理	95	12%	63%	6%	4%	1%	86%	11%	1%	2%	14%
小計	482	5%	75%	2%	5%	2%	89%	9%	0%	1%	11%	
全体平均	1878	4%	66%	2%	4%	1%	77%	17%	0%	6%	23%	

(平日、買い物等をする上位3位までの地区合計)

回答者が平日に「買い物」「サービス」を購入することが多い上位3位までの地区で見ると、全体平均では、志摩市内62%、市外38%であり、志摩市内が24ポイント高いが、上位1位と比較すると志摩市内の割合が15ポイント低くなっている。各地区別に見ると「阿児町」43% (23ポイント減) が最も多く、次に「伊勢市」25% (8ポイント増)、「その他市町」10% (4ポイント増)、「磯部町」9% (5ポイント増)、「志摩町」4% (同じ)、「浜島町」4% (3ポイント増)、「大王町」3% (1ポイント増)、「鳥羽市」1% (1ポイント増) の順となっている。阿児町が上位1位

と比較すると比率が大幅に減少した分、変化がなかった志摩町を除く市外を含む他の地区は、全て比率が増加している。

また、「買い物」および「サービス」別にみると、

「買い物」の全体平均は、志摩市内 61%、市外 39%であり、志摩市内が 22 ポイント高いが、上位 1 位と比較すると志摩市内の割合が 12 ポイント低くなっている。各地区別に見ると“阿児町” 41% (21 ポイント減) が最も多く、次に“伊勢市” 26% (6 ポイント増)、“その他市町” 11% (3 ポイント増)、“磯部町” 9% (5 ポイント増)、“浜島町” 4% (3 ポイント増)、“大王町” 3% (1 ポイント増)、“志摩町” 3% (同じ)、“鳥羽市” 1% (1 ポイント増) の順となっている。やはり「買い物」は阿児町に一極集中しているが、志摩市内の他の地区も増加している。しかし、志摩市の他の地区の増加分で吸収仕切れていないことから、志摩市民の「買い物」行動が阿児町から市外に移動していることを表しているだろう。

また、とくに阿児町は、全ての「買い物」購入品目が 1 位となっている（「おもちゃ・スポーツ・レジャー用品」は伊勢市と同率 1 位）が、50%代がなく、40%代が 10 品目、30%代が 5 品目となっている。とくに最も比率が減少した買い物の購入品目は、「日用雑貨・家庭用品など」の 40 ポイント減であり、次が「日用衣料品（下着・作業服・靴下類など）」35 ポイント減、「書籍・文具品」34 ポイント減等である。このことから阿児町の一極集中度力は弱くなっている。一方、志摩市内の他の地区で、10%代購入品目が 4 品目あった磯部町以外は、他の地区では全ての品目が 10%以下である。

一方、市外の伊勢市では、買い回り品の購入比率が高く、30%代の買い物の購入品目が 4 品目、20%代が 9 品目となっている。その他市町も 20%代が 1 品目、10%代が 9 品目となっている。鳥羽市も、0%の品目は「化粧・医薬品」「時計・メガネ・アクセサリー」のみで、他は 1%代である。また、とくに伊勢市では、比率が増加した主な購入品目は、「日用雑貨・家庭用品」「書籍・文具品」の 16 ポイント増、「化粧・医薬品」「ガソリン・灯油・燃料」の 15 ポイント増、「日用衣料品（下着・作業服・靴下類など）」13 ポイント増などである。逆に、減少した主な購入品目は、「紳士服」「婦人服・子供服」「家具・寝具・室内装飾品」の 7 ポイント減などである。

他方、「サービス」の全体平均は、志摩市内 69%、市外 31%と志摩市内が約 7 割近くを占めている。志摩市内が 38 ポイント高いが、上位 1 位と比較すると志摩市内の割合が 20 ポイント低

くなっている。各地区別に見ると“阿児町” 48% (27 ポイント減) が最も多く、次に“伊勢市” 20% (11 ポイント増)、“磯部町” 9% (4 ポイント増)、“その他市町” 8% (7 ポイント増)、“浜島町” 5% (3 ポイント増)、“志摩町” 4% (1 ポイント減)、“大王町” 3% (1 ポイント増)、“鳥羽市” 2% (2 ポイント増) の順とな



っている。阿児町が上位1位の買い物地区の比率が大幅に減少した分、1ポイント減少した志摩町を除く市外を含む他の地区は、全て比率が増加しているが、やはり、阿児町に一極集中しているものの集中力は弱くなっていると推測できる。とくに、志摩市の各地区では、購入品目の構成比が0%である品目がなくなっている。一方、市外の地区では、伊勢市が20%代3品目、10%代3品目、その他市町は、10%代が3品目、また鳥羽市も購入品目の構成比が0%であったのは、「クリーニング」のみであった。

買い物・サービスの購入品目等区分		有効回答数	磯部	阿児	大王	志摩	浜島	志摩市計	伊勢市	鳥羽市	その他市町	志摩市以外の市町計
買 い 物 の 購 入 品 目 等	1 生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品(お菓子・弁当・酒を含む。)	274	16%	42%	5%	5%	5%	74%	21%	1%	4%	26%
	2 日用雑貨・家庭用品など	216	18%	43%	4%	6%	4%	75%	18%	1%	7%	25%
	3 化粧品・医薬品	234	9%	36%	3%	4%	3%	54%	22%	0%	8%	31%
	4 日用衣料品(下着・作業服・靴下類など)	229	10%	43%	3%	7%	3%	65%	27%	0%	8%	35%
	5 紳士服	174	10%	36%	2%	2%	4%	53%	30%	1%	16%	47%
	6 婦人服・子供服	180	9%	40%	1%	1%	3%	54%	31%	1%	14%	46%
	7 電化製品	189	8%	46%	2%	2%	4%	61%	26%	1%	12%	39%
	8 書籍・文具品	196	8%	45%	1%	4%	4%	62%	25%	1%	12%	38%
	9 おもちゃ・スポーツ・レジャー用品	188	6%	36%	1%	1%	2%	45%	36%	1%	18%	55%
	10 靴・カバン	188	6%	39%	2%	4%	3%	54%	29%	2%	16%	47%
	11 時計・メガネ・アクセサリ	196	5%	42%	3%	3%	3%	55%	28%	0%	17%	45%
	12 お祝い品・記念品・土産物などの贈答品	193	8%	42%	2%	3%	3%	58%	23%	2%	18%	42%
	13 家具・寝具・室内装飾品	186	5%	39%	3%	1%	2%	49%	31%	1%	20%	51%
	14 自動車・オートバイ・自転車	200	9%	43%	3%	5%	9%	69%	19%	1%	13%	32%
	15 ガソリン・灯油・燃料	212	9%	41%	3%	4%	5%	61%	29%	1%	8%	39%
小計	3067	9%	41%	3%	3%	4%	61%	26%	1%	11%	39%	
購 入 サ ー ビ ス	16 美容・理髪	156	8%	53%	4%	5%	4%	74%	19%	4%	3%	26%
	17 飲食(夕食などの外食)	229	6%	41%	2%	5%	8%	62%	26%	3%	10%	38%
	18 クリーニング	144	16%	52%	1%	8%	3%	81%	14%	0%	6%	19%
	19 整体・マッサージ等	110	7%	53%	3%	2%	4%	68%	19%	2%	11%	32%
	20 学習塾	61	5%	57%	2%	2%	7%	72%	20%	2%	7%	28%
	21 自動車修理	165	8%	44%	4%	3%	6%	66%	21%	2%	11%	34%
	小計	865	9%	48%	3%	4%	5%	69%	20%	2%	8%	31%
全体平均	3932	9%	43%	3%	4%	4%	62%	25%	1%	10%	38%	

問6 休日に買い物をする地区

(休日、主に買い物をする地区)

休日、回答者が主に「買い物」「サービス」を購入する地区は、全体平均では、志摩市内 71%、市外 29%であり、志摩市内が約7割強を占めている。ただ、市外の地区には、“通信販売（インターネット販売も含む。以下同じ）”の4%が含まれている。しかし、志摩市内は市外より42ポイント高いが、平日と比較すると6ポイント減少している。このことは、消費者の買い物行動範囲が広がったと推測できる。この通信販売が集中するのは、深夜12時だと言われていることから、調査項目からは漏れているが平日にも買い物購入されていると推測される。各地区別に見ると“阿児町”60%（平日と比較すると6ポイント減）が最も多く、次に“伊勢市”20%（3ポイント増）、“磯部町”6%（2ポイント増）、“その他市町”5%（1ポイント減）、“志摩町”4%（同じ）、“大王町”1%（1ポイント減）、“浜島町”1%（同じ）、“鳥羽市”1%（1ポイント増）の順となっている。“その他市町”が減少した要因としては、“その他市町”が勤務地あるいはその周辺地域の市町であると推測できる。

また、「買い物」および「サービス」別にみると、「買い物」の全体平均は、志摩市内 67%（6ポイント減）、市外 33%であり、志摩市内が約7割弱となっている。各地区別に見ると“阿児町”57%（5ポイント減）が最も多く、次に“伊勢市”22%（2ポイント増）、“磯部町”6%（2ポイント増）、“その他市町”6%（2ポイント減）、“通信販売”5%（純増）“志摩町”3%（同じ）、“大王町”1%（1ポイント減）、“浜島町”1%（同じ）、“鳥羽市”1%（1ポイント増）の順となっている。やはり、阿児町に一極集中している。また、“通信販売”5%が4位を占めている。このことは、志摩市内あるいは市外の地区において、買い物に出かけなくても自宅での「買い物」購入行動が増加してきていることを意味している。注視しなければならない現象である。また、市外の地区については、大型ショッピングセンターが多数ある伊勢市が2位を占めている。

また、とくに阿児町は、全ての買い物の購入品目のうち、買い回り品の「紳士服」及び「夫人服・子供服」（阿児町と同順位）は、伊勢市が1位となっており、他の品目は1位を占めている。「買い物」の購入品目のうち、ポイントが増加したのが「生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品（お菓子・弁当・酒を含む）」（7ポイント増）である。この品目は購入頻度の最も高い品目と推測できる。また、他の品目は、80%代0品目（1品目減）、70%代が4品目（1品目増）、60%代が3品目（1品目減。ただし、「自動車・オートバイ・自転車」同%である）、50%代が2品目（2品目減）、40%代が5品目（2品目増）、30%代1品目（1品目増）となっている。80%代から70%代になった品目は「日用雑貨・家庭用品など」で8ポイントの減、40%代から30%代になった品目は「紳士服」で2ポイントの減となっている。最もポイントが減少した品目が「電化製品」の10ポイント減である。この品目は、比較的高価格商品であることから、販売価格が比較しやすい家電の量販店の多い伊勢市が逆に10ポイント増加している。一方、志摩市阿児町以外の各地区では、10%代の品目は、磯部町の「日用雑貨・家庭用品など」「化粧品・医薬品」のみであり、他の品目は10%である。また、「紳士服」「婦人服・子供服」「時計・メガネ・アクセサリ」「家具・寝具・室内装飾品」の4品目は、志摩市内での購入比率が50%以下となっている。

次に、「サービス」の全体平均は、志摩市内 86%、市外 14%と志摩市内が約 9 割近くを占め、志摩市内が 72 ポイント高いが、平日と比較すると 3 ポイント減少している。減少ポイントが「買い物」よりも 3 ポイント少なかったのは、サービスの性質が購入と消費が同時にされる購入品目が多いことが要因と考えられる。各地区別に見ると“阿児町” 70% (5 ポイント減) が最も多く、次に“伊勢市” 11% (2 ポイント増)、“磯部町” 7% (2 ポイント増)、“志摩町” 5% (同じ)、“浜島町” 3% (1 ポイント増)、“その他市町” 2% (1 ポイント増)、“大王町” 1% (1 ポイント減)、“鳥羽市” 1% (1 ポイントの増)、“通信販売” 0%の順となっている。また、このように、阿児町に「サービス」も一極集中し、阿児町は、全ての「サービス」購入品目が 1 位となっている。とくに、「学習塾」は 94% (同じ)、「整体・マッサージ業」 81% (3 ポイント減)、「飲食」 59% (17 ポイント減)、「美容・理髪」 70% (5 ポイント減)、「クリーニング」 71% (3 ポイント減)、「自動車修理」 64% (1 ポイント増) となっている。一方、志摩市内の他の地区では、磯部町の「クリーニング」 12%以外は全て 10%以下であり、購入品目が 0%であった品目のある地区は、「飲食」が大王町、「整体・マッサージ業」が大王町、「学習塾」が大王町、志摩町、浜島町である。

他方、市外の地区も購入品目が 20%代は伊勢市の「飲食」 21% (3 ポイント増) であり、10%代は、伊勢市の「学習塾」「自動車修理」のみであり、市外の他の地区は、全ての品目が 10%代未満であった。

以上のように、消費者の休日の消費行動が広範囲に拡散してきていると推定できる。

買物・サービスの購入品目等区分		有効回答数	磯部	阿児	大王	志摩	浜島	志摩市計	伊勢市	鳥羽市	その他県内市町	通信販売 (インターネットも含む。)	志摩市以外の市町計
買物の購入品目等	1 生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品 (お菓子・弁当・酒を含む。)	110	9%	73%	2%	7%	3%	94%	5%	0%	1%	0%	6%
	2 日用雑貨・家庭用品など	104	10%	75%	1%	6%	0%	91%	6%	0%	2%	1%	9%
	3 化粧品・医薬品	93	11%	63%	3%	2%	1%	81%	12%	0%	3%	4%	19%
	4 日用衣料品 (下着・作業服・靴下類など)	93	4%	71%	0%	1%	0%	76%	17%	0%	4%	2%	24%
	5 紳士服	84	4%	38%	0%	2%	0%	44%	39%	2%	8%	6%	56%
	6 婦人服・子供服	93	3%	40%	0%	1%	0%	44%	40%	0%	10%	6%	56%
	7 電化製品	93	2%	61%	0%	2%	1%	67%	28%	0%	2%	3%	33%
	8 書籍・文具品	86	3%	70%	0%	3%	1%	78%	14%	0%	1%	7%	22%
	9 おもちゃ・スポーツ・レジャー用品	77	5%	44%	0%	1%	0%	51%	27%	0%	10%	12%	49%
	10 靴・カバン	90	3%	42%	0%	2%	0%	48%	30%	1%	13%	8%	52%
	11 時計・メガネ・アクセサリー	80	1%	43%	0%	3%	1%	48%	33%	3%	10%	8%	53%
	12 お祝い品・記念品・土産物などの贈答品	88	5%	53%	0%	3%	0%	61%	19%	0%	14%	6%	39%
	13 家具・寝具・室内装飾品	86	2%	45%	0%	1%	0%	49%	38%	1%	3%	8%	51%
	14 自動車・オートバイ・自転車	80	8%	64%	1%	4%	0%	76%	16%	1%	5%	1%	24%
	15 ガソリン・灯油・燃	98	10%	56%	4%	5%	4%	80%	17%	2%	0%	1%	20%

買物・サービスの購入品目等区分		有効回答数	磯部	阿児	大王	志摩	浜島	志摩市計	伊勢市	鳥羽市	その他県内市町	通信販売(インターネットも含む。)	志摩市以外の市町計
購入サービス	料												
	小計	1355	6%	57%	1%	3%	1%	67%	22%	1%	6%	5%	33%
	16 美容・理髪	89	6%	70%	2%	7%	4%	89%	9%	1%	1%	0%	11%
	17 飲食(夕食などの外食)	95	9%	59%	0%	4%	2%	75%	21%	1%	2%	1%	25%
	18 クリーニング	77	12%	71%	0%	8%	4%	95%	4%	0%	1%	0%	5%
	19 整体・マッサージ等	52	4%	81%	0%	2%	2%	88%	8%	2%	2%	0%	12%
	20 学習塾	31	3%	94%	0%	0%	0%	97%	3%	0%	0%	0%	3%
	21 自動車修理	83	6%	64%	5%	5%	1%	81%	14%	1%	4%	0%	19%
	小計	427	7%	70%	1%	5%	3%	86%	11%	1%	2%	0%	14%
	全体平均	1782	6%	60%	1%	4%	1%	71%	20%	1%	5%	4%	29%

(休日、買い物等をする上位3位までの地区合計)

回答者が休日に買い物・サービスを購入することが多い上位3位までの地区で見ると、全体平均では、志摩市内54%、市外46%であり、志摩市内が8ポイント高いが、上位1位と比較すると志摩市内の割合が17ポイントも大きく減少している。各地区別に見ると“阿児町”40%（上位1位と比較すると20ポイント減）が最も多く、次に“伊勢市”27%（7ポイント増）、“その他市町”12%（8ポイント増）、“磯部町”7%（1ポイント増）、“通信販売”5%（純増）、“志摩町”3%（1ポイント減）、“大王町”2%（1ポイント増）、“浜島町”2%（1ポイント増）、“鳥羽市”2%（1ポイント増）の順となっている。阿児町の比率の減少分が、主に通信販売を含む市外地区の購入比率の増加につながったと推測できる。

また、「買い物」および「サービス」別にみると、

「買い物」の全体平均は、志摩市内52%、市外48%であり、志摩市内が4ポイント高いが、上位1位と比較すると志摩市内の割合が15ポイント低くなっている。各地区別に見ると“阿児町”39%（18ポイント減）が最も多く、次に“伊勢市”28%（6ポイント増）、“その他市町”12%（6ポイント増）、“磯部町”7%（1ポイント増）、“通信販売”6%（純増）、“志摩町”3%（同じ）、“浜島町”2%（1ポイント増）、“大王町”1%（同じ）、“鳥羽市”1%（同じ）の順となっている。このことは、阿児町での購入比率が減少した分に対して、志摩市の他の地区が十分に対応できていないことを表しており、そのため、通信販売を含む市外の各地区へ消費者が「買い物」に出かけたと推測できる。

また、とくに阿児町は、全ての買い物の購入品目が50%下回っている。「紳士服」を除く全てのサービスの購入品目が1位（「婦人・子供服」は伊勢市と同順位）となっているが、購入比率は、40%代が7品目、30%代が8品目となっている。他方、最も購入比率が減少した上位5位の買い物の購入品目は、「日用雑貨・家庭用品など」35ポイント減が最も大きく、次が「生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品（お菓子・弁当・酒を含む。）」29ポイント減、「書籍・文具品」28ポイント減、「化粧品・医薬品」および「日用衣料品（下着・作業服・靴下類など）」27ポイント減となっている。阿児町が上位1位の買い物地区の比率から大幅に減少したが、それに比例して志摩市内の他の地区の購入比率はあまり増加していない。志摩市内の他の地区では、磯部町の

「生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品（お菓子・弁当・酒を含む。）」および「日用雑貨・家庭用品など」が10%代であるが、それ以外の品目は全て10%以下であった。

さらに、阿児町と伊勢市の関係を見ると、「紳士服」は伊勢市が34%で第1位であり、「婦人服・子供服」はどちらも36%で第1位である。伊勢市では、買い回り品の購入比率が高く、30%代の買い物の購入品目が7品目、20%代が8品目と阿児町の購入比率との差が小さくなってきている。

次に、「サービス」の全体平均は、志摩市内64%、市外36%と志摩市内が約6割強を占めている。志摩市内が28ポイント高いが、上位1位と比較すると志摩市内の割合が22ポイント低くなっている。各地区別に見ると“阿児町”47%（23ポイント減）が最も多く、次に“伊勢市”22%（11ポイント増）、“その他市町”10%（8ポイント増）、“磯部町”7%（同じ）、“志摩町”5%（同じ）、“鳥羽市”4%（3ポイント増）“大王町”2%（1ポイント増）、“浜島町”2%（1ポイント減）、“通信販売”0%の順となっている。阿児町が上位1位の買い物地区の比率が大幅に減少した分、1ポイント減少した浜島町を除く市外を含む他の地区は、全て比率が増加しているが、やはり、阿児町に一極集中しているといっていいただろう。しかし、微増ではあるが、志摩市内の阿児町以外各地区では、購入品目の構成比が0%である品目がなくなってきており、微量ではあるが阿児町から分散した「サービス」購入者の受け皿となっている。市外り地区では、伊勢市は30%代1品目、20%代2品目、10%代3品目、その他市町は、10%代が3品目、また鳥羽市も0%の品目がなかった。ただ、通信販売は、全ての品目が0%であった。

このように、上位3位で見ると居住地あるいは近隣地、勤務地、勤務地の周辺の市町へ消費行動がひろがっていることが推測できる。

買物・サービスの購入品目等区分		有効回答数	磯部	阿児	大王	志摩	浜島	志摩市計	伊勢市	鳥羽市	その他県内市町	通信販売（インターネットも含む。）	志摩市以外の市町計
買物の購入品目等	1 生鮮品・食材、惣菜・加工品等食料品（お菓子・弁当・酒を含む。）	247	11%	44%	4%	6%	3%	67%	21%	2%	9%	2%	33%
	2 日用雑貨・家庭用品など	223	12%	40%	3%	4%	6%	65%	22%	1%	7%	5%	35%
	3 化粧品・医薬品	211	9%	36%	2%	5%	7%	59%	26%	1%	9%	5%	41%
	4 日用衣料品（下着・作業服・靴下類など）	193	8%	44%	1%	2%	1%	55%	27%	1%	11%	6%	45%
	5 紳士服	173	5%	32%	1%	2%	1%	40%	34%	2%	16%	8%	60%
	6 婦人服・子供服	195	6%	36%	1%	1%	1%	45%	36%	2%	15%	8%	61%
	7 電化製品	193	6%	41%	1%	2%	2%	51%	29%	1%	12%	7%	49%
	8 書籍・文具品	184	4%	42%	1%	2%	2%	52%	30%	1%	9%	9%	48%
	9 おもちゃ・スポーツ・レジャー用品	167	6%	35%	1%	1%	1%	43%	30%	2%	17%	8%	57%
	10 靴・カバン	185	4%	36%	1%	2%	1%	43%	31%	2%	16%	8%	57%
	11 時計・メガネ・アクセサリー	150	3%	36%	1%	1%	1%	43%	27%	2%	17%	12%	57%
	12 お祝い品・記念品・土産物などの贈答品	183	6%	39%	1%	3%	1%	50%	31%	1%	13%	6%	50%
	13 家具・寝具・室内装飾品	183	4%	36%	1%	1%	1%	42%	33%	1%	15%	9%	58%

買物・サービスの購入品目等区分		有効回答数	磯部	阿児	大王	志摩	浜島	志摩市計	伊勢市	鳥羽市	その他県内市町	通信販売(インターネットも含む。)	志摩市以外の市町計
	14 自動車・オートバイ・自転車	149	7%	43%	1%	3%	4%	58%	26%	2%	10%	5%	42%
	15 ガソリン・灯油・燃料	197	7%	40%	4%	5%	4%	58%	27%	2%	10%	4%	42%
	小計	2833	7%	39%	1%	3%	2%	52%	28%	1%	12%	6%	48%
購入サービス	16 美容・理髪	149	7%	46%	3%	6%	3%	65%	21%	5%	9%	0%	35%
	17 飲食(夕食などの外食)	198	5%	39%	2%	5%	2%	52%	30%	5%	14%	0%	48%
	18 クリーニング	126	13%	49%	1%	9%	3%	75%	15%	4%	6%	0%	25%
	19 整体・マッサージ等	89	4%	55%	1%	3%	1%	65%	19%	4%	11%	0%	35%
	20 学習塾	57	7%	56%	2%	4%	2%	70%	21%	4%	5%	0%	30%
	21 自動車修理	135	8%	46%	4%	4%	2%	65%	19%	3%	13%	0%	35%
	小計	754	7%	47%	2%	5%	2%	64%	22%	4%	10%	0%	36%
全体平均	3587	7%	40%	2%	3%	2%	54%	27%	2%	12%	5%	46%	

問家族の買い物の頻度

買物の回数	回答数	構成比
週2-3回	51	40%
ほぼ毎日	30	24%
週1回	25	20%
月2-3回	16	13%
無回答	3	2%
月1回以下	1	1%
その他	0	0%
合計	126	100%

回答者の家族の買い物・サービスを購入する頻度は、“週2-3回”40%が最も多く、次に“ほぼ毎日”24%、“週1回”20%、“月2-3回”13%、“無回答”2%、“月1回以下”1%、“その他”0%の順となっている。このことから、大型量販店での買い物が多いたことが、推測できる。

問8 買い物に行く際に利用する主な交通手段

(最も買い物に利用する交通手段)

順位	交通手段区分	回答数	構成比
1	自動車・オートバイ	111	93%
2	徒歩	4	3%
3	自転車	3	3%
4	近鉄電車	2	2%
5	知人の自動車に乗せてもらう	0	0%
6	三交バス	0	0%
7	役場の巡回バス	0	0%
8	その他	0	0%
合計		120	100%

回答者の家族が買い物・サービスを購入する際に最も利用する交通手段は、“自動車・オートバイ”93%が最も多く、次に“徒歩”・“自転車”3%、“近鉄電車”2%で、他の手段は0%の順となっている。以上のことから、消費者消費行動範囲が比較的広いことが推測できる。

(買い物に利用する上位3位の交通手段)

順位	交通手段区分	回答数	構成比
1	自動車・オートバイ	133	59%
2	徒歩	40	18%
3	自転車	17	8%
4	知人の自動車に乗せてもらう	17	8%
5	近鉄電車	14	6%
6	三交バス	2	1%
7	その他	2	1%
8	役場の巡回バス	1	0%
合計		226	100%

回答者の家族が買い物・サービスを購入する際に利用する上位3位の交通手段は、“自動車・オートバイ”59%が最も多く、次に“徒歩”18%、“自転車”・“知人の自動車に乗せてもらう”8%、“近鉄電車”6%、“三交バス”・“その他”1%、“役場の巡回バス”0%の順となっている。以上からも、1位と同じく“自動車・オートバイ”の利用者が最も多く、次に“徒歩”、“自転車”“知人の自動車に乗せてもらう”が続く。“徒歩”、“自転車”が上位であることは、居住地あるいは近隣地での消費者の買い物が1位よりも多いと推測できるが、“知人の自動車に乗せてもらう”が3位であるように消費者の買い物の行動範囲が比較的広いことが推測できる。

問9 志摩市内の小売業・サービス業などへの要望。(複数回答可)。

回答者の志摩市内の小売業・サービス業などへの要望項目は、22項目あったが、“品揃えが豊富”10%が最も多く、続いて“空き店舗の活用の協力”9%、“営業時間延長”7%、“接客態度がよい”“他地域や地域内との交流があるイベントの充実(定期的な朝市等の開催、夜店・模擬店など)”“農産物・水産物・特産品などの志摩市ブランドをつくり販売する”6%が上位5位である。やはり、大規模量販店と比較した品揃えが要望の第1になっている。しかし、小規模店では、このことで対抗することは不可能である。このため、単に「モノ」を売るのではなく「サービス」で売ることを考える必要がある。例えば、漫画サザエさんの三河屋のようにサザエさんの家の酒や醤油がなくなる時期をメモっておいて、在庫がなくなる少し前に、顧客に問い合わせるとか、顧客の世帯構成をメモっておいて、どのような商品がこの時期必要かを察知し、売り込むことも必要である。また、例えば、八百屋なら旬の野菜のレシピを顧客に教えるとか、このようなサービスは大規模量販店ではまねすることは不可能である。「モノ」で戦わず、「サービス」で戦う事を考える必要がある。また、営業時間については、大規模店が夜遅くまで営業しているにもかかわらず、営業時間が短いと言うことだと考えられる。このニーズは、昼間、志摩市地域外で仕事等に出ている市民にとって、志摩市、とくに居住地に戻っても、閉店とていると大変不便であると感じていると思われる。

順位	買い物・サービスの購入品目等区分	有効回答数	構成比
1	品揃えが豊富	36	10%
2	空き店舗の活用の協力	34	9%
3	営業時間延長	27	7%
4	接客態度がよい	23	6%
5	他地域や地域内との交流があるイベントの充実（定期的な朝市等の開催、夜店・模擬店など）	21	6%
5	農産物・水産物・特産品などの志摩市ブランドをつくり販売する	21	6%
7	割引券・お買い物共通ポイントカードの発行	20	5%
7	里海でしか買えない商品がある	20	5%
9	無料駐車場がある	17	4%
10	アフターサービスがよい	16	4%
10	高齢者対応の充実	16	4%
12	日曜・祭日営業	15	4%
13	共同大売り出し（先着プレゼント、抽選会）	14	4%
13	お買い物にいけるように巡回バスを運行する	14	4%
15	トイレの設置	13	3%
15	品質・鮮度がよい	13	3%
17	御用聞きと宅配サービス	12	3%
18	環境問題への取組み（レジ袋の有料化）	9	2%
19	店頭にない商品の取り寄せサービス	8	2%
20	地区に向いて現地販売する	8	2%
21	ミニコミ紙の発行	5	1%
22	その他	2	1%
合計		378	100%

①その他の要望についての回答者の自由記述は下記のとおりである。

- ・映画館が欲しい。
- ・障害者なのでもっと思いやりのスペースが欲しい。
- ・和式のトイレを洋式にして欲しい。
- ・松阪、伊勢にはあるが、志摩にないものの品揃えをする。
- ・スーパーなどで有機のもの、無農薬の物の販売を増やして欲しい。

品揃えや有機無農薬農産物以外の環境整備は地域づくりとして取り組む必要がある。

②里海での豊かな生活に必要な必需品についての回答者の自由記述は下記のとおりである。

- ・里海に限定した発想は×。里海沿岸からの売上、住民人口は、市内の小さな部分で里山も入れ、里村の町として考えれば○。鵜方や磯部は里海と関わりの内部分が多い。また付加価値を大きくする発想が必要。トイレ、布団、米など
- ・特産品のアピールや販売を増やして欲しい。
- ・地域のここだけしか買えない洋菓子（マドレーヌ、バームクーヘン等）日持ちのする物が欲しい。他県の人にもあげることができる。
- ・新しい物を作る。
- ・地域振興として、他の地域にもあまりないもの、たとえば薬草（漢方原料）など、大学と共同で作れば良い。不耕作地の利用を農協と協力したら良い。
- ・もっと、高齢になったときは地域に向いた店が欲しい。またファックス等各家に設定して欲しい。

現在、世帯人数、世帯構成とも全国平均よりも高齢者世帯や世帯人数も多く早急な対応は必要ではないかもしれないが、将来的には移動商品販売者の運行について検討する必要がある。また、里海の特産品づくりは、海産物だけでなく、農産物も含めて、開発することを検討する必要がある。

問10 志摩市内の小売業・サービス業などへの改善点等の意見。

回答者の改善点などについては、下記のとおり10件の自由記述があった。ただ、内容的には「問9 志摩市内の小売業・サービス業などへの要望」重複する回答が多々あった。とくに、改善点で多かったのは「接客態度」であった。顧客の胸に刺さるような接客を行わなければ、大規模量販店とは戦えない。また、商工会も受け身の対応ではなく、能動的対応が求められている。「伴走型支援」という支援手段はすばらしいが、手段の中身が十分に煮詰まっていないのではないだろうか、あるいは小規模事業者を理解されていないのではないかと、といった点を早急に見直す必要がある。

- ・まずは集客。伊勢から志摩に買い物に来てもらいたいと思います。
- ・イオンモールを巨大な施設にして欲しい。「なかみち」をハッピーに戻せ!
- ・磯部地区では買い物に出るのが不便なところが多いので、巡回バスを運行して欲しい。
- ・行政・商工会はなにもしていただけないとの声を聞くが、事業者が「こういうことをしたい」そのためには行政や商工会に手助けをしていただきたいとの声を聞くことが必要だと思う。同業者同士の意見交換も必要と思われる。
- ・高齢者が住みやすい商店街になるようにして欲しい。地区に出向いての現地販売などが、増えとうれしい。
- ・仕事の終わる時間が遅いため、店がほとんど閉まっている。しかし、どの店も愛想は良い。
- ・接客態度がもう少し、都会的に洗練して欲しい。
- ・接客態度は改善の余地がある。賢島の船着場での従業員の態度は都市から来たお客は不審に思う。身なりや言葉使い、態度などサミット現場としては不適切。たまり場的な雰囲気はすぐにでも改めないため。
- ・接客に対するプロ意識の向上を望む。レジなどで「ごめんなさい」と言われると「申し訳ございません」が、本来ではないか？と感じることがあります。また、何か尋ねても時間がかかったりします。お客にすれば業者の人は皆同じなので、担当の違う部署でも情報の共有など前向きな対応を心がけて欲しい。
- ・都市部の感覚を導入する。そうすれば、若い人が統治に残るのでは？保守的ではだめ。